

2026年3月24日



地域プロジェクトマネージャー 2025年度活動報告



総合政策課広報広聴係
倶知安町地域プロジェクトマネージャー
佐藤 礼乃

自己紹介

佐藤 礼乃

Sato Ayano

札幌生まれ

カナダ トロントでのワーキングホリデーを通して、
言語教育と多文化共生に興味を持つ。帰国後、日本語教師資格を取得。
ベトナム ハノイの日本語学校で2年間日本語教師の経験をした後、
2022年～地域おこし協力隊として倶知安に移住。
現在は倶知安町地域プロジェクトマネージャーとして、
地域日本語教室のコーディネーターと多文化共生事業を担当している。
メール nicochan.nihongosalon@gmail.com



目次

01

にほんごサロン にこちゃん

02

にこちゃんから派生した様々なイベント

03

町の課題と「多文化共生」

04

「多文化共生」ってなんだろう

05

この1年を通して学んだ3つのこと

にほんごサロン にこちゃん



Kutchan Nihongo Salon
にほんごサロン
にこちゃん
 Nico-chan

にほんごで はなす まなぶ
 (おかねが かかりません)

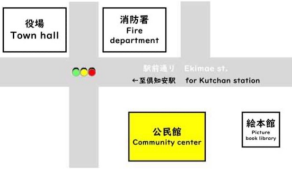
Talk in Japanese and learn Japanese! (Free)

水ようび
Wednesday
 10~11:30pm

木ようび
Thursday
 6~7:30pm



【ばしょ】
 倶知安町公民館 (こうみんかん)
 <Venue>
 Kutchan Community Center



【もうしこみ】
 ←前の日までに申し込み
 してください。
 <Application>
 ←Please apply
 by the day before.

【わからないこと】 Any Question
 コーディネーター さとう (Coordinator / Sato)
 メール: nicochan.nihongosalon@gmail.com



2026年 春*にこちゃん予定 Nihongo(Japanese Language) salon Nico-chan Schedule Spring*2026

4 2026

日	月	火	水	木	金	土
S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

★サポーターミーティング
 Supporter's meeting
 ①4月22日(水) 10~12am
 ②4月23日(木)6~8 pm
 *This meeting is for
 volunteers who support
 Japanese learning.

サポーターとして活動する
 日本人の方は、このミーテ
 ィングへの参加が必要です。
 興味のある方はメールにて
 ご連絡ください。

5 2026

日	月	火	水	木	金	土
S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

○にほんごサロン (昼)
 Japanese Language salon
 (Day time)
水ようび Wednesday
 10~11:30am
 ※5/7(木)は10~11:30amです。
 May 7 (Thu) will be from 10:00 to 11:30.

6 2026

日	月	火	水	木	金	土
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

○にほんごサロン (夜)
 Japanese Language salon
 (Evening)
木ようび Thursday
 6~7:30pm



01

にほんごサロン にこちゃん

✓ これまでの経過

- 21年度 「地域日本語教育スタートアッププログラム」を活用
→地域日本語教室開設に向けた取り組みを開始
(日本語学習支援者養成講座やプレ教室を実施)
- 22年度 4月 地域おこし協力隊として日本語教育経験者を任用
10月 にほんごサロン「にこちゃん」をスタート
- にほんご × こりゅう × くっちゃん = にこちゃん
- 24年度 「地域日本語教育スタートアッププログラム」の助成対象期間(最長3年)が終了
→町の独自事業として活動を続ける
- 25年度 4月 地域おこし協力隊→地域プロジェクトマネージャーとなり、
これまでのコーディネーターが引き続き関わる
文化庁「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」市町村間接補助金を活用
- 現在 2025年の参加者数 サポーター 99人 学習者 157人
(2022年10月の立ち上げ当初～これまでの参加者の合計はサポーター 117名 学習者 313名)



01

にほんごサロン にこちゃん

交流型のにほんごサロンを年間60回以上行うほか、支援者養成として、「サポーターミーティング」を年に4回行っている。また、多文化料理サロンやくっちゃんじゃが祭りでのブース出展など、地域とのつながりを活かしたイベントも実施。

- ✓ **実施日** 水曜日 10時～11時30分
木曜日 18時～19時30分
- ✓ **場所** 倶知安町公民館
出張にこちゃん→My Eco Lodge (2/18.19)
- ✓ **活動内容** 学習タイム 50分
交流タイム 30分
- ✓ **成果・効果**

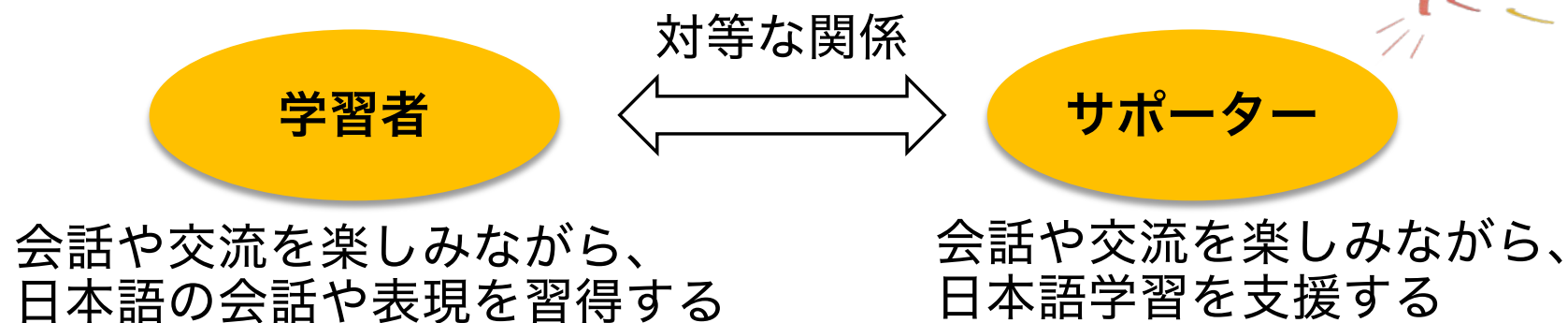
- ・ 外国籍住民が日本語を学ぶ、触れることができる場所に
- ・ 同じ地域に暮らす人々が継続的に接触・交流する機会に
- ・ にこちゃんがあることで地域の中で顔見知りの関係が生まれ、困りごとなどを相談できる場所に（外国人・日本人お互いに）



01

「にこちゃん」で大切にしていること

✓ 目的



お互いに新たな発見や学びを得る

地域のサードプレイス

地域の情報提供

多文化共生の拠点

02

にこちゃんから派生した様々なイベント

02

にこちゃんから派生した様々なイベント

町内小学校
で
交流授業



02

にこちゃんから派生した様々なイベント

茶道体験



多言語
読み聞かせ

02

にこちゃんから派生した様々なイベント

じゃが祭りで
ブース出展



02

にこちゃんから派生した様々なイベント

多文化
料理サロン



<台湾>
・ルーローハン
・タピオカ



<アメリカ>
・ジャンバラヤ
・スモア



02

にこちゃんから派生した様々なイベント

雪トピア
ソトアヤムブース



02

にこちゃんから派生した様々なイベント

雪トピア
ソトアヤムブース





まちづくり × にほんごサロン
 協働会議 にこちゃん
 多文化料理サロンの取り組み

今回の「ソトアヤム」ブースは、町民有志のまちづくり団体「まちづくり協働会議」と、地域日本語教室「くっちゃんにほんごサロンにこちゃん」の共同企画です。これまで共同企画で「多文化料理サロン」を2回行っており、「もっと多文化の料理体験を広めたい!」というメンバーの声から、今回の企画が実現しました!

タピオカ

第1回目
台湾料理

ルーロー飯



案内人のイリュウさん・トウテイさん
(台湾出身)



手作りタピオカ!
1つ1つ手で丸めました。

ジャンバラヤ

第2回目
マレーシア
アメリカ料理

スモア



福州白丸



案内人のハンターさん
(アメリカ・ルイジアナ州出身)



ジャンバラヤはいろんな国の文化がミックスされたルイジアナ州の郷土料理。

ソトアヤム

雪トピア
インドネシア
料理



ぜひ食べてみてね!

今回の案内人! マリナさん
(インドネシア出身)

マリナさん



だいすけさん
(にこちゃんサポーター)

「食」を通じて異文化を知り、「一緒に食べる」ことで言葉や国籍をこえたつながりを作りたいと考えこの取り組みを行なっています。

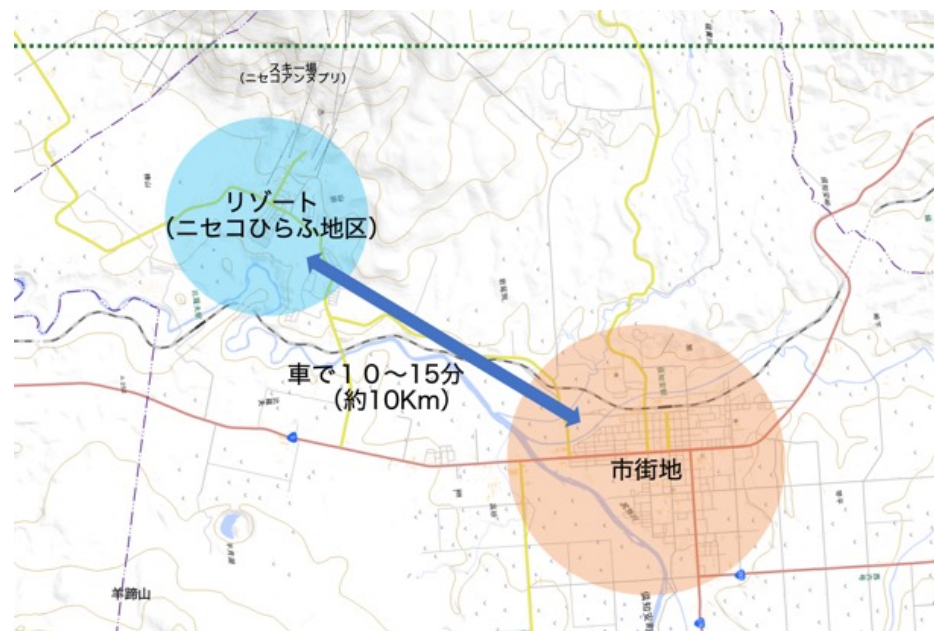
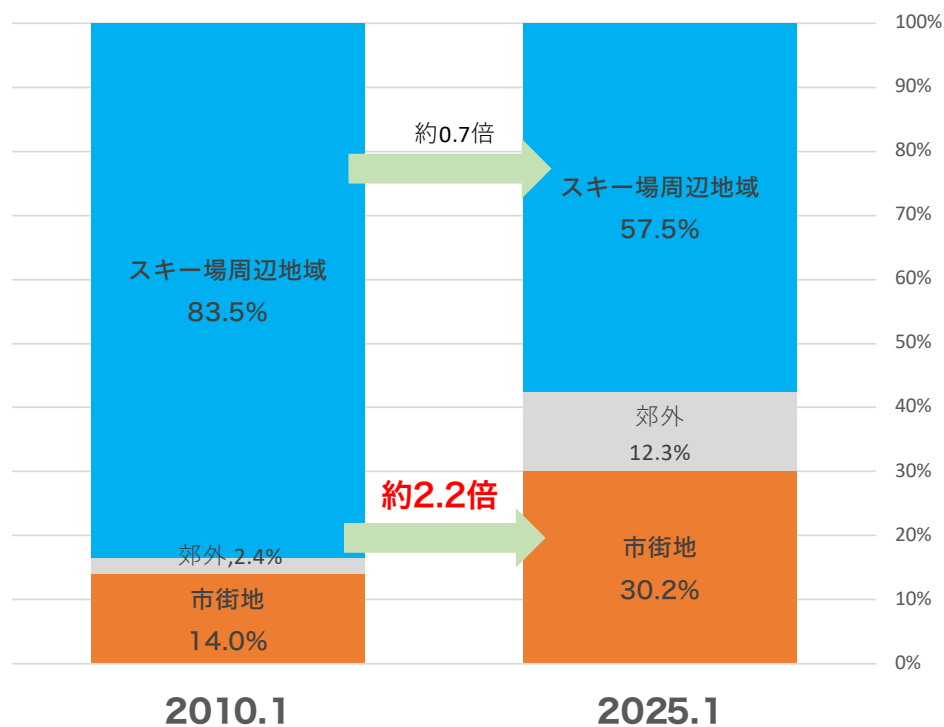
03

町の課題と「多文化共生」

03

町の課題と「多文化共生」

✓ 外国籍住民の居住地域割合の変化

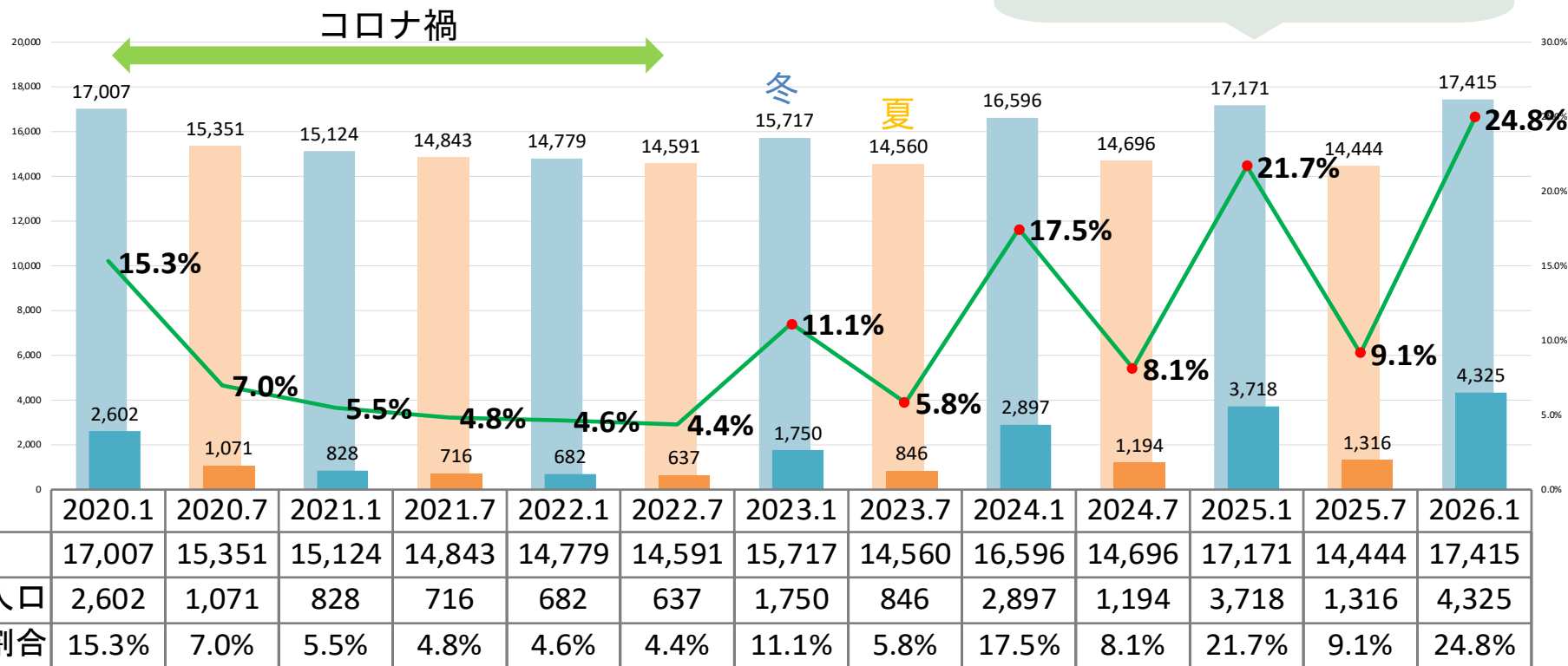


03

町の課題と「多文化共生」

✔ 倶知安町の人口推移（夏冬比較）

夏→冬で約3倍の差



03

町の課題と「多文化共生」

冬期に外国人が増加することによる主な課題

✓ 生活マナー

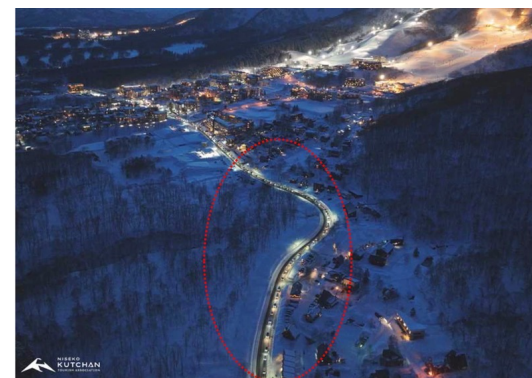
冬季の短期就労者を中心に、ごみの分別・ポイ捨て・騒音など生活マナーに関する課題が見られる。ワーキングホリデー制度の特性上、多くは一度きりの滞在である。一方、通年居住者は、日々の生活を通して地域のルールを理解していく。

✓ 住宅不足

冬季に短期間働く外国籍スタッフの住居を確保するため、企業がアパートや一軒家を借り上げ、スタッフ寮として使用するケースが増
利用は冬季のみであっても、物件自体は通年で確保されることが多く、その結果、家賃の上昇や住宅不足につながっている

✓ 交通渋滞

冬季の夕方には、リゾートと市街地をつなぐ道路が混雑する（1時間ほどかかることも）
混雑当初は観光客によるものと思われていたが、調査で通勤ラッシュが大きな要因ということが判明



03

町の課題と「多文化共生」

そんな中、2024～2025年冬、
町内の不動産会社が市街地に1200人の居住が
可能な従業員向け住宅の計画を発表

✓ 企業

- ・ 点在していた冬季スタッフ寮を
1カ所にすることで、管理がしやすくなる
- ・ 住宅不足の解消になるのでは？

✓ 住民

建設予定地周辺の町内会を中心に、
さまざまな声が上がった。

- ・ 交通渋滞が悪化？
- ・ 治安の心配？
- ・ 冬季スタッフの顔が見えない…（今も）

「多文化共生」ってなんだろう

これまでも不安があった。2025年、それが「見える化」した

これまで約3年間、にこちゃんをやってきた。
コミュニティ内では、顔見知りの関係性が生まれた。

しかし、2025年になって感じる
世の中（日本社会）の外国人に厳しい雰囲気



✓ 今、この地域に必要なことはなんだろう

1 「多文化共生」への理解を深める機会

「多文化共生」ってよく聞くけど…そもそもなに？

2 住民同士が話し合う「対話」の機会

正解を出す場ではなく
不安、違和感、期待 を言葉にする場

04

多文化共生セミナーの実施①

第1回目 多文化共生ってなんだろう？初めて学ぶ「多文化共生」

2025年8月24日（日）町民向けセミナー
 ……講義＋グループディスカッション
 2025年8月25日（月）職員向け
 ……講義

講師 NPO法人多文化共生リソースセンター東海
 土井 佳彦 氏

「多文化共生」への理解を深める機会



令和7年度 俱知安町多文化共生セミナー

外国人と俱知安で暮らす

「多文化共生」は本当に可能なのか？

観光業の発展や外国人就労者の増加により、長期・短期ともに外国人住民が年々増えている俱知安町。「多文化共生」って言葉をよく聞くけど... それって何？ 私たちは何をすればいいの？ みんなで一緒に「多文化共生」について考えてみましょう！

参加無料 対象 外国人住民と関わる機会のあるすべての方へ
 このセミナーは2部構成ですが、どちらか一方のみの参加も可能です。両方に参加いただくことで、より深い理解が得られる内容です。

第1部 8/24 ① 13:00-16:00 方法：対面＋オンライン開催
 会場（対面）：俱知安町役場2階会議室

多文化共生ってなんだろう？ はじめて学ぶ「多文化共生」
 地域づくりと多文化共生について/各地の取り組み紹介

【講師】 NPO法人多文化共生リソースセンター東海 代表理事 土井 佳彦 氏
 1979年、広島生まれ。大学で日本語教育を学び、卒業後、留学生や技術研修生を対象とした日本語教育に従事。同時に、地域日本語教室にもボランティアとして参加。2008年、東海地域における多文化共生分野の中間支援NPOとして「多文化共生リソースセンター東海」（名古屋市）の立ち上げに参加し、翌年の法人格取得とともに代表理事に就任。

第2部 11/9 ② 13:00-16:00 方法：対面のみ
 会場：俱知安町役場2階会議室

俱知安の現状を知り、これからを真剣に考える
 パネルディスカッション/多文化共生ワークショップ

【講師】 NPO法人国際活動市民中心（CINGA） 新居 みどり 氏
 青年海外協力隊としてルーマニアにて活動。帰国後、多文化共生領域で仕事をすることを目標に東京外国語大学多言語多文化教育研究センター、国際移住機関（IOM）などで勤務。2011年よりCINGAで働き始め、15年より地域日本語協力や外国人相談領域の事業コーディネーターを務める。

【申し込み】
 電話・メール・上記の2次元コード（Googleフォーム）より申し込み
 ※オンライン参加の方には、後日参加URLをお送りします

【問い合わせ】
 俱知安町役場総合政策課広報広聴係（寺井・原子）
 地域プロジェクトマネージャー（佐藤）
 電話 56-8001 ① kouhou@town.kutchan.lg.jp

04

多文化共生セミナーの実施②

第2回目 『倶知安の現状を知り、これからを真剣に考える』

2025年11月9日（日）

・・・パネルディスカッション+グループディスカッション

2025年11月10日（月）

・・・講義

講師

NPO法人国際活動市民中心（CINGA） 新居 みどり 氏

住民同士が話し合う「対話」の機会



令和7年度 倶知安町多文化共生セミナー第2部

倶知安の現状を知り、 これからを真剣に考える

倶知安町の多様な外国人住民との関わりを知り、
様々な視点から本町の「多文化共生のまちづくり」を考えてみませんか。

11/9（日） 参加 無料 13:00~16:00
会場：役場2階会議室

モデレーター 新居 みどり さん
(NPO法人国際活動市民中心(CINGA))



前半 パネルディスカッション

地域で暮らす4名のパネリストが登壇し、地域日本語教室・外国人住民・
企業・町内会、それぞれの現場から見えている「今」を語ります。

パネリスト



佐藤 礼乃さん
にほんごサロンにこちゃん
コーディネーター



シュン ミイミイコさん
町内企業勤務
/ミヤンマー出身



岩佐 信さん
シャレーアイビーワイス
総支配人



細川 俊夫さん
尋和町内会
幹事長

後半 グループディスカッション

パネルディスカッションで感じたことをきっかけに、
これからの多文化共生について、自由に語り合う時間です。

全体共有・総括

【問い合わせ】
倶知安町総合政策課広報広聴係
電話：56-8001 メール：kouhou@town.kutchan.lg.jp



申し込み方法（11/6(木)まで）
・左の申し込みフォーム
<https://forms.gle/ggm9HURksGPnrjG6>
・電話
・メール

多文化共生セミナーの実施（工夫）

✓ 安心・安全な対話のために 参加ルールを設定

- ・ 互いを尊重した発言
- ・ 否定せずに聴く
- ・ 撮影・録音・録画はしない
- ・ SNS等への投稿はしない

多文化共生セミナー 参加ルール

本セミナーは、誰もが安心して学び合える場を目指しています。参加者同士が尊重し合える環境づくりにご協力ください。

1. 言動に関するマナー

差別的、攻撃的、不適切な言動・態度は、いかなる理由でも認められません。

他の参加者や登壇者はもちろん、地域で暮らしている住民を尊重し礼節を持って発言してください。

2. グループワークの参加について

一人ひとりの考えを尊重しましょう。

どのような意見や発言も批判や否定をしないで傾聴しましょう。参加者一人ひとりの考えや思いが尊重されると、安心して話し合うことができます。

3. 撮影・記録・発信について

会場内およびオンライン画面（スクリーンショット含む）の撮影・録音・録画は禁止です。

特に、他の参加者や登壇者の顔や発言内容を個人のSNS等に投稿することは、肖像権や著作権の侵害となる可能性がありますのでお控えください。

4. ルール違反への対応

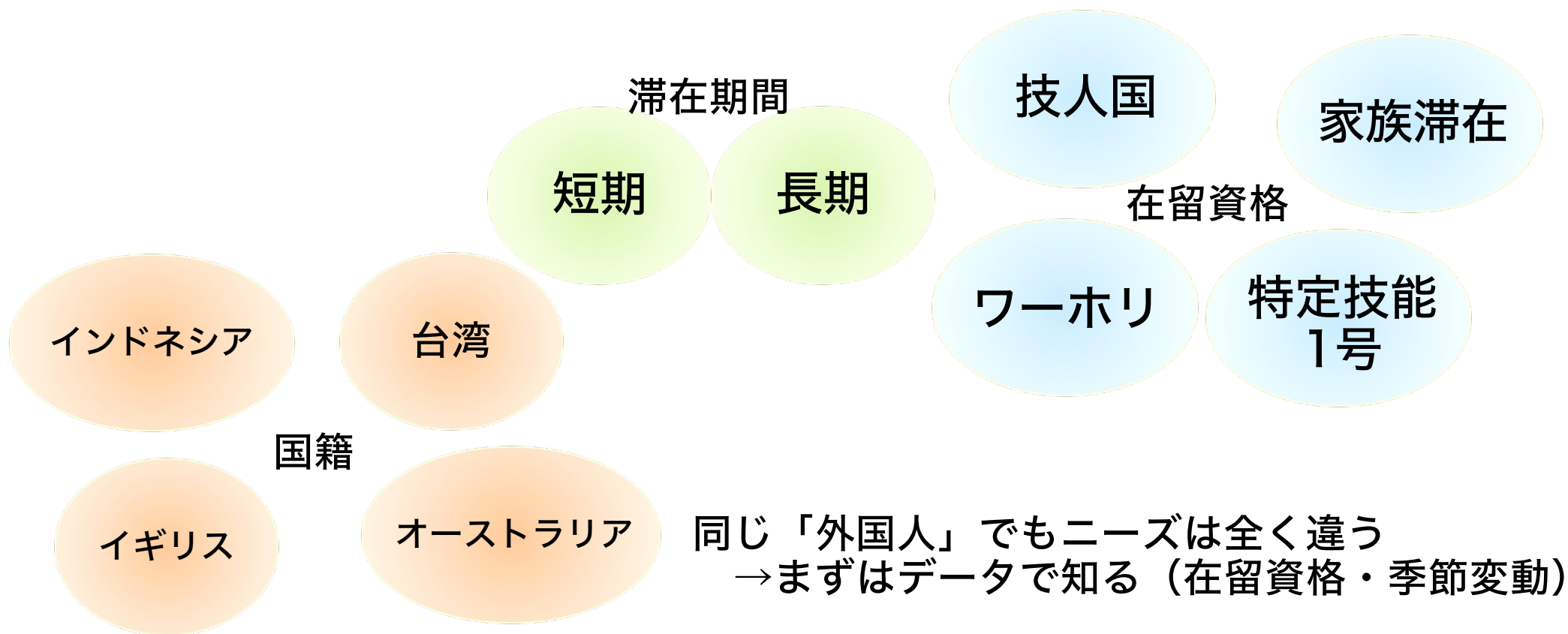
上記のルールが守られない場合、主催者の判断により、退室（退出）していただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

05

この1年を通して学んだ3つのこと

この1年を通して学んだこと①

✓ 地域で暮らす外国人を分析し、知る



04

この1年を通して学んだこと①

✓ 町で暮らす外国人の国籍・在留資格

国籍

2025年6月		2025年12月	
国籍	人数	国籍	人数
1 中国	182	オーストラリア	893
2 オーストラリア	153	英国	861
3 台湾	102	中国	344
4 インドネシア	98	台湾	318
5 フィリピン	93	カナダ	212
6 英国	93	ニュージーランド	205
7 ネパール	70	インドネシア	136
8 ベトナム	54	アルゼンチン	123
9 マレーシア	43	フィリピン	118
10 韓国	40	アイルランド	85

在留資格

2025年6月		2025年12月	
在留資格	人数	在留資格	人数
1 技術・人文・国際	537	特定活動	2,691
2 特定活動	178	技術・人文・国際	727
3 家族滞在	123	技能	240
4 永住者	121	家族滞在	162
5 技能	105	永住者	122
6 特定技能1号	60	特定技能1号	109
7 日本人配偶者	58	経営・管理	65
8 経営・管理	54	日本人配偶者	63
9 技能実習2号口	24	技能実習2号口	33
10 技能実習1号口	9	技能実習1号口	11

05

町で暮らす外国人の国籍・在留資格

✓ 在留資格からの分析

2025年6月	
在留資格	人数
技術・人文・国際	537
特定活動	178
家族滞在	123
永住者	121
技能	105
特定技能1号	60
日本人配偶者	58
経営・管理	54
技能実習2号口	24
技能実習1号口	9

✓ 特定活動
主に「ワーキングホリデー」
協定国で一生に一度だけもらえるビザ
18歳～30歳 1年間の就労許可

✓ 技術・人文・国際
外国人専門職が日本で働くための就労ビザ
日本語要件なし
大学卒業や実務経験など専門知識要件あり
家族帯同可能

✓ 家族滞在
「技術・人文・国際」の家族の可能性

2025年12月	
在留資格	人数
特定活動	2,691
技術・人文・国際	727
技能	240
家族滞在	162
永住者	122
特定技能1号	109
経営・管理	65
日本人配偶者	63
技能実習2号口	33
技能実習1号口	11

この1年を通して学んだこと②

✓ ルールと文化の共生を分けて考える

ルール違反 → 是正が必要（誰に対しても）

文化の違い → 理解・調整が必要

▷ この2つを混ぜると「外国人＝問題」になってしまう



出典：2025年11月26日HTB「イチオシ！」放送

この1年を通して学んだこと③

✓ 理想だけではなく、現場の実情から考える

理想 多文化共生とは

国籍や民族などの異なる人々が、
互いの文化的違いを認めあい、
対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくこと
(総務省「多文化共生推進プラン」2006)

実情 現場で抱えている困りごとがある

各課でかかえている困り事を知らずに、
取り組みは進められない
→現場の声をしっかり聞いた上で、実情に合った取り組みを進めたい

【まとめ】 実践を振り返って

✔ 多文化共生は地域づくりの一部

✕ 外国人 対 日本人

外国人のための特別な施策

人手不足の解決策

外国人支援

○ 外国人も日本人も多様

住民同士の対話

企業・行政・住民の役割分担

顔の見える関係づくり

多様な人が共に暮らす地域をどうつくるかという地域づくりの視点